

第35回 SATOU フォーラム

前々回から新会場（八重洲）です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右 QR コード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)



記

日時：2023年10月10日（火） 16:00～19:00（受付開始は15:50より）

会場：イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomC（前はDでした）

中央区京橋1-1-6 越前屋ビル4階

[フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。](#)[\(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。\)](#)

- >15:50～16:00 受付
- >16:00～16:15 会員会社情報発信
- >16:15～18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

「大增税時代に異議あり」

けさ(9/25)の産経新聞の一面は、宗教法人は固定資産税等非課税と優遇されているが、「休眠」状態になった宗教法人まで、そのまま優遇し続けている実態を報じた。昔から税金対策で休眠法人を結構な値段で売買されることは聞く。

庶民にとっては、税はコワイものであり、積極的になかなか知ろうとしないが、悪用は論外だが、もっと活用されるべきだろう。

「怒りの路線価」以来、怒りの森田先生の軽妙な語り口の税務講釈を受けてみよう。岸田政権の増税路線が敷かれた中で、家計の防衛は、国防と同様重要です。何か一つでもヒントが見つけられればもうけものです。

講師：森田 義男 先生（税理士・不動産鑑定士）

>18:00～19:00 交流会 ビールと軽いツマミで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定] 第36回 2023年11月7日（火） 演題・講師未定



東京駅八重洲中央口徒歩4分

(東京メトロ銀座線京橋7番出口徒歩3分)

八重洲地下街24番出口出て

すぐ右側のビル4階です

森田 義男（もりた よしお）先生のプロフィール

税理士・不動産鑑定士

1948年埼玉県生まれ。72年東京教育大学（現筑波大学）卒業、同年三井信託銀行入社。

行員時代の16年間のうち10年間にわたり不動産業務を担当。

1988年森田税務会計事務所を設立、現在に至る。

不動産を得意分野とする相続専門税理士として活躍中。

主な著書：『怒りの「路線価」物語』『嘆きの「固定資産税」物語』（ともにダイヤモンド社）、『公示価格の破綻—驚くべき鑑定評価の実態』（水曜社）、『取り返せ！相続税』（すばる舎）、『相続カー円満・有利・安心のために』（ビーケイシー）、『はじめての不動産実務入門』（近代セールス社）等がある。

以上

ザイム真理教国の消費税

◆問われる!! 社会保障の充実度

上がる物価に上がらぬ賃金、庶民の生活まっ赤々。成長盛りの子どもを持つ世代は悲鳴をあげている。せめて**消費税廃止**（もしくは減税）できないものか。

大手新聞社は、軽減税率の適用で財務省に借りがあるせいと言い出せない。財務省の「財政均衡主義」（国は借金で大変という大嘘）教義は、最近世の中で「ザイム真理教」と呼ばれるようになった。

新聞社を含めわが国は、教団に支配された一大「ザイム真理教国」なのだ。創価学会や統一教会なんてめじゃない。

消費税にはなしを戻すと、「社会保障は消費税でまかなう」という美名（宣伝文句）のもと、2022年に支払った（しぼり取られた!）**消費税は28兆円弱。これまでどの程度社会保障が充足できたのか？** 国として基本的に重要な継続支出であれば、消費税でなく、なぜ一般税収でまかなわないのか、わからない。

消費税は、かねてよりその**強い逆進性（庶民に辛く、金持ちに甘い）**が指摘されている。

豆を炒るのにその殻を燃して炒るというが、庶民は豆のような存在だ。税制の建前である「**応能負担**」原則はどこかに行ってしまい、「**とりやすいところから取る**」原則? がまかり通っている。

つい最近も経団連十倉会長による消費税増税促進への発言（答申）があった。法人税減税で23.5%に優遇してもらっているのに、ちょっと凶々しくないか。

少子化対策には、そもそも生活の安定基盤を確立できるような年俸が必要不可欠だ。別のところで「来年の賃上げで4%を超えたい」とも、十倉会長は発言した。経営現場では、従業員の確保が喫緊の状況となりつつある。

財務省は、スキさえあれば、今後も増税のチャンスを狙っている。

天災は、忘れたころにやってくる。増税は忘れぬ間もなくやってくる。

岸田首相は、ザイム真理教の幹部そのものだから、ハナシは簡単だ。後は時期・タイミングの調整だけであろう。

消費税は国際的にスウェーデン等の25%の国に比べて、日本の10%はまだまだ低い・安いと財務省は宣伝している。

しかし、**表面的な数字で比べては、ダメサレル**。それぞれの国の綿密な調査に基づく社会保障の実体（充足度）こそ比較されるべきであろう。

以上

（文責：佐藤）

第 35 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)
よろしく願い申し上げます。

フォーラム参加費: 6, 000円(税込)(交流会費 1,000 円含む)

交流会参加 交流会不参加

お 名 前			
企 業 名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

*お忙しい中恐れ入りますが、10月6日(金)頃までにご返信をお願いできればと存じます。

<事務局>

プラチナ出版株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7
京橋鈴木ビル 7F
事務局: 今井 090-1701-7108
[Tel:03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax:03-6264-4644
E-mail: info@pulatinum-pub.co.jp

振込先: 三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697
口座名義: 佐藤 一雄